

WEEKLY ロマンシング サ・ガ3の新情報満載

ファミコン通信

特集

タクティクス オウガ

この秋の話題作を完全攻略

聖剣伝説3

『1999年のゲームキッズ』
原案のテレビドラマ

『ブラックアウト』
放映決定!!

ニンテンドー64ネットワーク計画!!

緊急速報

スーパードンキーコング2
バーチャファイター2

続報 !!

10月20日

320yen
秋たけなわ
特別定価

真説サムライスピリット
武士道烈伝

ファミ通だけの超スクープ!
いま初めて明らかになる



NEW GAMES CROSS REVIEW

新作ゲームクロスレビュー
10月9日~10月15日

批評家



ひと昔前のコナミっていえば、コニカルだけど、それでいて芯のしっかりしたシーティング、アクションを作るソフトメーカー。誰もがそんな風に思っていたよね。ヒット作が一本出れば、すべてのイメージは変わる。10×20よりも100×1のほうが、ツヨイんだね。



去る8月28日は、ジャッキー・ブライアントの誕生日。編集部に行くと、「ジャッキーにバースデープレゼントを送りたかったけど、送り先不明なので差し上げます」という感じで、ワタクシめ宛てにツツガ届いておりました。中身はアニエスb.のシャツ。サンキューです。



ゲームの殿堂で武道館のステージに立ってしまった。いつもはここ向かってる私が、今日はこっち側にいるんだなあって感慨深かった。……となるハズだったんだが、緊張しまくつて何も覚えてないのだ。気がついたときにはやっぱいつものようにステージに向かってんの。



DOS/Vの『DOOM2』サイコー。いまだにハマっています。しかも通信対戦が燃えるぜ。サイバースペースで友だちと殺し合い。めちゃくちゃカッコイイやんけ。似たようなゲームが多いなが、『DOOM』シリーズを越えるモンはないね。みんなDOS/V買いましょう、ぜひ。

発売日

10月13日

ハイパーイリア



スーパーファミコンカートリッジ
バンプレスト 9600円

作品

10月13日

ゲームの鉄人
THE上海



スーパーファミコンカートリッジ
サンソフト 9980円

10月13日

SD-F1
グランプリ



スーパーファミコンパックアップカートリッジ
ビデオシステム 10900円

主人公イリアが人命救助や化け物退散など、各ステージの依頼を解決するアクションゲーム。依頼遂行のため、敵から逃げたり、罠を仕掛けることも必要だ。

麻雀牌を使うパズルゲーム。「上海」に「龍龍」と「紫禁城」が加わった。物語にあわせてパズルを解くモードと、好きなパズルを選んで解くモードが楽しめるぞ。

10人の個性的なドライバーが登場するレースゲーム。実際のF1と同じ20コースに加え、世界各国の名所を舞台にした20のオリジナルコースも楽しめるぞ。

いい雰囲気をだしてるとと思うんだけど。BGMも含めて、テンポがいい。マップによっては、やたら単調というか、冗長というか。斬新なヤマ場がないまま、ただ進めている、こなしているような印象を持ってしまうんだな。構成自体は悪くないと思う。仕掛けの練り込み不足!?

『上海』系のいろんなゲームを集めました。マシンパワーの影響で、表示がちゃちく見えてしまうのはしかたないこと。鉄人モードもなし。ヘルプモードもほかのところらへれば、機能落ちだけど、基本的なゲーム性はまったく同じ。見劣りすることなく、十分楽しめるよ。

レース中は『マリオカート』系。レースに勝ってお金をためてチューンアップ。いろんなレースゲームのいいところを引っ張ってきてくっつけた。そんな感じ。実況は楽しいけど、ゲーム性には影響なし。おもしろいんだけどね。なんだか新しいゲームをプレーしている気にならない。

ステージごとに変化ある構成になっているが、なかには冗長な感じのするステージもある。ボスがいるところへたどり着くまで、どこへ行けばいいのかをその都度教えてくれるのはいいが、そのアドバイス、かなり気まぐれぎみ。アイテムは買い物で入手につき、マネーパワーで勝利。

同名、同内容のソフトがほか2機種から出ているが、キーレスポンスの面で最弱となってしまった。それでも3ゲームが楽しめるとあって、絶対に割安感はある。コレクターズアイテムとしての『上海』を望み、なおかつ他機種のハードを所有していないのであれば、迷う必要はない。

『マリオカート』なんちゃって版。恐らく上下レビューの批評も、「モロに『マリオカート』」的な文章は押されてあるのでしょうか。中身は本当にそのとおり。でも、動物ドライバーや謎な今宮純さんの起用、妨害アイテムなどの存在で、ゲーム全体がほんやりとした印象になっている気が。

操作感覚はなめらかでいい感じ。倒した敵は復活しないし、難易度やコンティニュー回数の設定も可能。ゲーム中は助手(?)のボブが行き先を教えてくれるから、迷うこともないのだ。超おもしろいってわけじゃないけど、達成感を味わいたくて、なんか続けちゃう。BGMもいい感じね。

タイトルになってる鉄人モードがないで。べつになくてもいいですけど。牌を選んでから消えるまでのタイムラグがなんともどかしい。スーパーファミコンってこんなに処理能力ないのかなあ? 少々疑問ですわ。グラフィックも昔のファミコンみたいで、どうも垢抜けないぞ。

『マリオカート』クリソツ。ただ、レースはすごくシビア。壁や敵に少しでも接触するとスピードダウンして抜かれ、抜かれたら抜き返すことはほぼ不可能。敵との戦いというより自分との戦いなんだよね。レースを楽しむ余裕がないのだ。『走り』より『レース』を楽しみたいんだけど。

迷路のような地形を目的地を目指して進むアクション。プレイヤーが迷わないように、メッセージで方向を示してくれたりと、遊びやすくなっている。が、アクションの要素としてはふつうで、敵を倒しつつ同じような背景の迷路を走り回る。しかも、たまに操作が重くなるときも。

麻雀牌を使ったパズル、『上海』、『龍龍』、『紫禁城』と3つのゲームがカップリング。それぞれのゲーム自体は、まあからあるモノで目新しさは希薄。いまさらという気もするが、初心者にはいいかも。問題数もかなりあるみたいだしね。個人的には『紫禁城』がおすすめ。あとは飽きた。

基本的に『マリオカート』。だけど、いろいろなフィーチャーがてんこ盛り。視点切り替え可能、ペラペラ解説者がしゃべる、マシンのチューンナップもできる。もちろんアイテムで敵車を攻撃できる。さまざまな要素があるのにもかかわらず、単純に遊べるのはいいね。操作感も○。

浜村通信

羽田隆之

渡辺美紀

ローリング内沢

10月13日

ゲームの鉄人 THE 上海



プレイステーションCD-ROM
サンソフト 6800円

「上海」を始めとする麻雀牌を使った人気パズルゲームが、ひとつにまとまって登場。収録されたすべての問題がランダムに登場するモードなどが楽しめる。

ゲーム内容は、ほかの機種とほとんど同じ。でも牌の美しさという点では、これが一番。プラス1点の理由はこれだけだな。お得なヘルプ機能もついてるし、なによりレスポンスがいいのはうれしいね。ハマリゲーの元祖ともいえる作品。コストパフォーマンスは、メチャいいです。

サターン版と同じ。スーパーファミコン版よりもモードが1つ多い。ストーリーモードの元絵は、3機種とも同じようだ。ルールは単純、でもツボにはまるといつのまにか時間が過ぎているという、理想的なパズルゲームが3種類収められているといえば、それだけで価値がある。

音は3機種のなかでいちばんみたい。あとはサターンと同じ。どれかひとつのゲームをもくもくとやるもよし、鉄人モードで3つのゲームを淡々とやるもよし。個人的には「紫禁城」がどこにも難しくプレーして疲れる。暇潰しにポーッと遊びたい人にオススメしない。超頭使うよ。

鉄人モードが付いているあたりはサターン版と同じっていうか、まんまいっしょ。3機種で発売されるんだけど、どれがいいかっていうのは甲乙つけられない。同じ内容で値段が安いのはプレイステーションとサターン。ゲーム的にはむかしのものなので、好きな人向けてカンジですね。

10月13日

ウィザードリイVII ガーディアの宝珠



プレイステーションCD-ROM
リー・コンピュータエンタテインメント 5800円

人気RPGの最新作。キャラクターメイキングでは、11種類の種族が選べるほか、33種類の顔やスキルといった要素を組み合わせ、好みのキャラが作れるぞ。

細かく凝りまったく設定、ルール、資料。一般人がプレーするには障害が多いすぎない!? もともと「ウィズ」はそういうソフトだったけど、こりゃ極まりまくり。グラフィックもかっちょいいし、ディープでタフなRPGマニアならハマりまくれそうだけど……ちょっと手が出ないな。

何かっこと読む。それはいいが、長い。3Dダンジョンを歩いているとピタリと画面が止まるから、敵の出現がバレたり。でもそのあたりを我慢できれば、没入可能。フルオーケストラあり、部位による攻撃・被攻撃システムあり、あとは何かほしいかというとマップがほしい。くれ。

イキナリ宇宙。どうも「ウィズ」っぽくなくて違和感。プレー感も、なんだか別のゲームになってしまったような印象。こだわりすぎて感じなのだ。ゲームの肝心の部分で「らしく」ないんだな。ところで、キャラメイキング時の文字はどうしてみんなに小さくする必要があったの?

滑らかな動き、キレイなグラフィック、さすが新世代機ってカンジ。しかし取っつきの悪さ、敷居の高さはファン向けというどこで妥協しても、システム的に遊びづらい。敵の出現、撃退のたびにCDを読み込み、カベが遠くにあるのに移動するとぶつかるヘンな遠近感。テンポ悪。

10月13日

インスマウスの館



バーチャルボーイカートリッジ
アイマックス 4900円

クトゥルー神話と呼ばれる一連の怪奇小説をモチーフにしたアドベンチャーゲーム。3Dダンジョンを探検しながら、制限時間内にフロアから脱出しよう。

バーチャルボーイらしい3Dのギミック。怪物が迫ってくる効果音。怖くって○。惜しいのがバランスの悪さ。システムの問題もあるけど、挟み撃ち、アイテムがなくなったりで、進退窮屈な状況に、すぐに陥ってしまう。運が良くないとクリアできないってのはツライよ。

これ、ハッキリ言ってスーパーFamicomでやってもみんな怒っちゃうと思うんですけど、じつはバーチャルボーイの数少ない成功例。鍵を取って扉を探すという、ものすごく単純な内容だし、難しいし、一瞬でゲームオーバー画面だし、だけどハードとの相性が最高。ハマるでよ。

左右の+ボタンの使い分けが重要な、バーチャルボーイならではのゲーム。照準合わせようとして敵に背中向けちゃう自分が情けないぜ。トホホ。ランダムで現われるカギを拾ったら、あとはドア見つけて突っ込むだけ。もうちょっとなあ……。戦闘重視にしたらこうなったのかなあ。

『ダンジョンマスター』のように3Dのダンジョンで敵と戦う。制限時間があり、銃の弾数にも制限あり、時間に追われてゲームをじっくり楽しめない。また敵の出現が怖くない。いつ出会うかみたいなドキドキ感が薄い。スピード感を展開がそうさせているのか? ちょっと残念。

10月13日

ときめきメモリアル ~forever with you~



プレイステーションCD-ROM
コナミ 6800円

人気の恋愛シミュレーションゲームがいよいよ登場。オリジナルのイベントが多数加えられているほか、グラフィックやサウンドもグレードアップしている。

どんなにヘボなゲームでも、人との対戦だとそれなりに楽しい。つまりゲームの最終兵器は、人間の知能とのコミュニケーションなんだな。いかにさりげなく、不自然でなく、人間に化けられるか。そのテクニック、設定のデキの良さが、このソフトの驚異的な支持の根柢なんだろう。○。

今回初めてのプレーでした。人気の理由を少し味わえたかな。名前の登録の際には本名を入れたくなるし、女の子の微妙な表情の変化の一喜一憂できるわけですわ。プレー中、終始ニヤケてしまったり。ただ、何が必要かっていうと御機嫌取りなわけで、その受身の姿勢がどうも。

デートの誘いを断わられると怒り、誉め言葉に頬染める彼女に「単純だなあ」と思いいつもニヤニヤするなど、じわじわと感情移入していく自分に笑っちゃったりする。そのうちにやるからにはやっぱすべての女の子を制覇したいと思い始める。そんな中毒性に+1点してもいいかもね。

中毒性は超高い。途中でやめられないようなゲームシナリオ。それでいて、複雑な敷居の高いシミュレーションではない。ゲームだけ自分は自分であるという感覚が強い。前作と較ペシスティックにイベントも増え絵も強化。アニメ絵の好き嫌いは別にしても、よくできた作品だ。

Best Picks of This Week

秋から年末、来春にかけてRPGの大作がたくさん発売されるよね。やっぱり秋の夜長や寒い冬には、家でじっくりと遊べるRPGがいいよってことなのかな。

新しいジャンルを作つてくれた『ときめき』に、まずは敬意を表するとして。意外にいいのが『リンダ』。コレクションしてきた動物を眺めるのが、じつに壮快。グラフィックの凝った進化ページを見てみたい。

正直言って、『ときめき』はあと何回かやり直してみたいゲーム。ぜつたいに鏡ちゃんねんごろになろう。『ウィズVII』は僕が知ってる『ウィズ』ではないけど、まったく別のゲームとして見ればかなりいい感じなはず。

今週は『リンダキューブ』。登場人物も敵も、とにかく絵は個性的。好みがわかれると思う。でも、あの集める＆作る楽しさにはやめられない不思議な魅力が。やめられない魅力って点では『ときめき』もおススメだよ。

中毒性が高く、ついいつ遊んでしまうのは『ときめきメモリアル』。へんなこだわりを捨てて一度プレーしてみては。あとはおすすめではないかけど『鬼退治』がこれまで中毒性あり。娯楽度はそんな高くないけど。

読者プレゼント GAME SOFT

年末商戦まで、あと2ヵ月。そろそろ、お金を貯めないと、年末の大作ゲームを買い損ねるぞ。

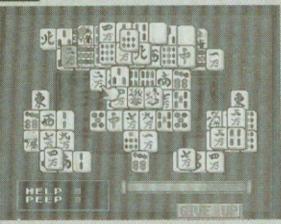
1 ハイパーイリア



■スーパーファミコン バンブレスト アニメ「イリア」を題材にしたアクションゲーム。妖怪退治の依頼を解決し、報酬で武器を買い替えながら戦え。

3名

2 ゲームの鉄人 THE上海



■スーパーファミコン サンソフト 人気パズルゲーム「上海」のほか、麻雀牌を使ったパズルゲーム、「龍龍」、「紫禁城」で遊べるお得なソフトだぞ。

3名

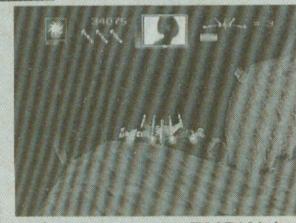
3 ころんらんど



■スーパーファミコン ユーメディア 転がせば転がすほど大きくなる、ころんを敵に投げつけて戦うアクションゲーム。最大4人で対戦できるぞ。

3名

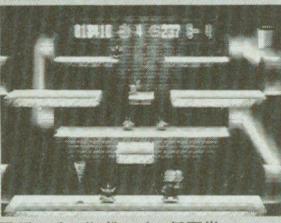
4 トータル エクリプス ターボ



■プレイステーション BMGピクター 3DOで発売されたシューティングゲームのリメイク版。地球侵略をもくろむドラクサイ帝国の野望を阻止せよ。

3名

5 マリオクラッシュ



■バーチャルボーイ 任天堂 マリオが主人公のアクションゲーム。フィールドの奥と手前を行き来しながら、カメを投げつけて敵を倒せ。

3名

6 ブロックくすしGB



■ゲームボーイ パウ テレビゲームの元祖といえる、アクションゲーム「ブロックくすし」のゲームボーイ版。対戦プレーも可能だぞ。

3名

GAME GOODS

7 ツインビーガッホー! ～不思議の国で大あばれ!!



3名

ゲームのストーリーを基に展開する、オリジナルCDドラマ。ドラマのほか、國府田マリ子のボーカル曲も収録している。

8 グランチェイサー



3名

ゲームで使用された曲に、3つの新曲を加えたミュージックCD。特典として、シド・ミードの原画CGが入っているぞ。

9 魔法騎士レイアース オリジナル サウンド トラック



3名

サターンで人気のRPG「魔法騎士レイアース」で使われた、32曲のBGMをすべて収録したミュージックCDだ。

応募のおきて

官製はがきに応募券を貼り、以下の質問に答えてファミコン通信FPコーナーまで送ってください。
 ① 欲しいものの番号②郵便番号③住所、氏名、年齢、電話番号④職業、学年⑤あなたの趣味⑥使用ゲームマシン⑦好きなゲーム⑧好きな有名人⑨好きな音楽⑩好きな映画⑪最近注目していること⑫行ってみたい場所⑬将来の夢

当日消印有効

10/12
しめきり

10月20日号の当選者は12月1日号(11月17日発)で発表だ!

*このプレゼントに当選したかたは、この号のほかの懸賞に当選できない場合があります。賞品の発送は当選者発表後1~2ヵ月かかることがありますのでご了承ください。

応募券

10月20日号

Present for you

